

インストールガイド

AXIS Q1755-Eネットワークカメラ

日本語

法律上の注意事項

ビデオまたは音声監視は法律によって禁止されている場合があります、その内容は国によって異なります。本製品を監視用途でご利用になる前に、ご利用頂く地域の法律を確認してください。本製品にはH.264デコーダライセンスおよびAACデコーダライセンス（音声用）が1つずつ含まれています。追加ライセンスのご購入については、Axis製品の販売店にお問い合わせください。

商標

Apple, Boa, Bonjour, Ethernet, Internet Explorer, Linux, Microsoft, Mozilla, Netscape Navigator, OS/2, Real, SMPTE, QuickTime, UNIX, Windows, WWWは各社の登録商標です。JavaおよびすべてのJava関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems Inc. の商標または登録商標です。Axis Communications ABは Sun Microsystems Inc. とは無関係です。UPnP™は、UPnP Implementers Corporation (UIC) の商標です。

電波に関する適合性 (EMC)

本装置は無線周波数を発生、使用、放射するため、指示通りにインストールおよび使用されていない場合は、無線通信に有害な妨害を招く恐れがあります。ただし、特定のインストールにおいて妨害が生じないという保証はありません。本装置がラジオおよびテレビ受信機に対して有害な妨害を招き、本装置の電源の入切を行うことによって本装置が原因であると確認できた場合は、次の1つまたはそれ以上の措置にしたがって妨害を是正してください。受信アンテナの方向を変更するか、再配置を行う。本装置と受信機の間隔を広げる。本装置を、受信機が接続されているものとは異なる電源に接続する。販売店または経験を積んだラジオ/テレビ技術者に相談する。EMC基準に準拠するには、本装置でシールド付き (STP) ネットワークケーブルを使用する必要があります。

米国 - This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B computing device pursuant to Subpart B of Part 15 of FCC rules, which are designed to provide reasonable protection against such interference when operated in a commercial environment. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause interference, in which case the user at his/her own expense will be required to take whatever measures may be required to correct the interference.

カナダ - This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

欧州 - CE This digital equipment fulfills the requirements for radiated emission according to limit B of EN55022, and the requirements for immunity according to EN55024 residential and commercial industry.

日本 - この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラスB情報装置です。この装置を家庭環境でラジオやテレビ受信機に近接して使用すると、無線妨害を引き起こすことがあります。取扱説明書にしたがって正しく設置および使用してください。

豪州 - This electronic device meets the requirements of the Radio communications (Electromagnetic Compatibility) Standard AS/NZS CISPR22.

韓国 - Class B: As this equipment has obtained EMC registration for household use, it can be used in any area including residential areas.

装置の改造

本装置は、必ず本書やユーザーズマニュアルの手順にしたがってインストール、および使用してください。本装置にはユーザーが独自に交換や修理を行える部品は含まれていません。無許可で装置を変更したり、改造したりした場合、適用されている規制証明や認可がすべて無効になります。

責任

本書の制作には細心の注意を払っていますが、不正確な記述や脱落、乱丁または落丁を見つげられた場合は、最寄りのAxis事業所までご連絡ください。またAxis Communications ABは、技術的な間違いや誤字・脱字などに対して責任を持たず、予告なく製品や文書の記載内容に対して変更、修正を行う権利を保持します。Axis Communications ABは、本書に含まれる内容について、商用性および製品の特定用途に対する適性についての黙示的な保証を含め、一切保証を行いません。Axis Communications ABは、この資料、資材の提供、パフォーマンス、使用の結果に関連した付随的または結果的な損害に対して責務および責任を負いません。

RoHS

本製品は、欧州RoHS指令 (2002/95/EC) および中国 RoHS 指令 (ACPEIP) に適合しています。



WEEE 指令

The European Union has enacted a Directive 2002/96/EC on Waste Electrical and Electronic Equipment (WEEE Directive). This directive is applicable in the European Union member states.



The WEEE marking on this product (see right) or its documentation indicates that the product must not be disposed of together with household waste. To prevent possible harm to human health and/or the environment, the product must be disposed of in an approved and environmentally safe recycling process. For further information on how to dispose of this product correctly, contact the product supplier, or the local authority responsible for waste disposal in your area. Business users should contact the product supplier for information on how to dispose of this product correctly. This product should not be mixed with other commercial waste.

サポート

技術サポートが必要な場合は、Axis製品の販売店にお問い合わせください。Axis販売店がおお客様のご質問にすぐに回答できない場合は、適切な部門に転送し、早急に回答いたします。インターネットをご利用の場合は、次のことができます。

- ユーザーズマニュアルやファームウェアの更新をダウンロードする。
- FAQ データベースで問題の解決方法を見つける。データベースは、製品別、カテゴリー別、または語句を使用して検索できます。
- 専用サポートエリアにログインして、Axisサポートに問題を報告する。

安全確保と警告

製品をインストールする前に本インストールガイドをよくお読みください。インストールガイドは今後参照するために保管しておいてください。

！ 警告！

- Axis 製品を輸送する場合には、製品が損傷するのを防ぐために元の梱包または類似した梱包を使用してください。
- 製品が損傷する可能性があるため、振動、衝撃または強い圧力に製品がさらされないようにし、カメラを不安定なブラケット、不安定または振動する面や壁に取り付けしないでください。
- カメラを取り付ける場合には、手動工具のみを使用してください。電動工具を使用したり、過剰な圧力をかけると製品が損傷することがあります。
- 化学薬品、腐食剤または噴霧式クリーナーは使用しないでください。クリーニングを行う場合には湿った布を使用してください。
- Axisが提供または推奨するアクセサリおよび交換部品のみを使用してください。
- 製品を自分で修理しないようにしてください。修理に関してはAxisまたはAxis販売店にお問い合わせください。

！ 重要！

- 本Axis製品はお使いになる国の法律および規制にしたがって使用してください。
- Axis製品を保管および輸送する際には、乾燥した換気のよい環境で行ってください。

安全性に関する告知 - バッテリー交換

本Axis製品は、内部のリアルタイムクロック (RTC) 用電源として3.0V CR2032リチウムバッテリーを使用しています。通常、このバッテリーは最低 5 年間使用できます。バッテリーが低電力の状態になると、RTCの動作に影響し、電源オンのたびにリセットされます。バッテリーの交換が必要になった場合、ログメッセージが表示されます。バッテリーは、このように必要な場合以外には交換しないでください。バッテリーの交換が必要になったときは、www.axis.com/techsupを参照してください。

- バッテリーは、正しく交換しないと爆発する危険があります。
- メーカーが推奨する同じバッテリーまたは同等のバッテリーのみと交換してください。
- 使用済みバッテリーを廃棄する際は、メーカーの指示にしたがって処分してください。

AXIS Q1755-Eインストールガイド

このインストールガイドでは、AXIS Q1755-E ネットワークカメラ (以下、ネットワークカメラ) をお使いのネットワークにインストールする手順について説明しています。ネットワークカメラの設定などに関する説明については、ユーザーズマニュアルを参照してください。ユーザーズマニュアルは、製品に付属のCDまたはAxisのホームページ (www.axiscom.co.jp) からご覧いただけます。

インストール手順

1. 下のリストで、パッケージの内容を確認してください。
2. ハードウェアの概要。6ÉyÅ[ÉW を参照してください。
3. ハードウェアをインストールします。8ÉyÅ[ÉW を参照してください。
4. IPアドレスを設定します。12ÉyÅ[ÉWを参照してください。
5. パスワードを設定します。15ÉyÅ[ÉW を参照してください。



重要!

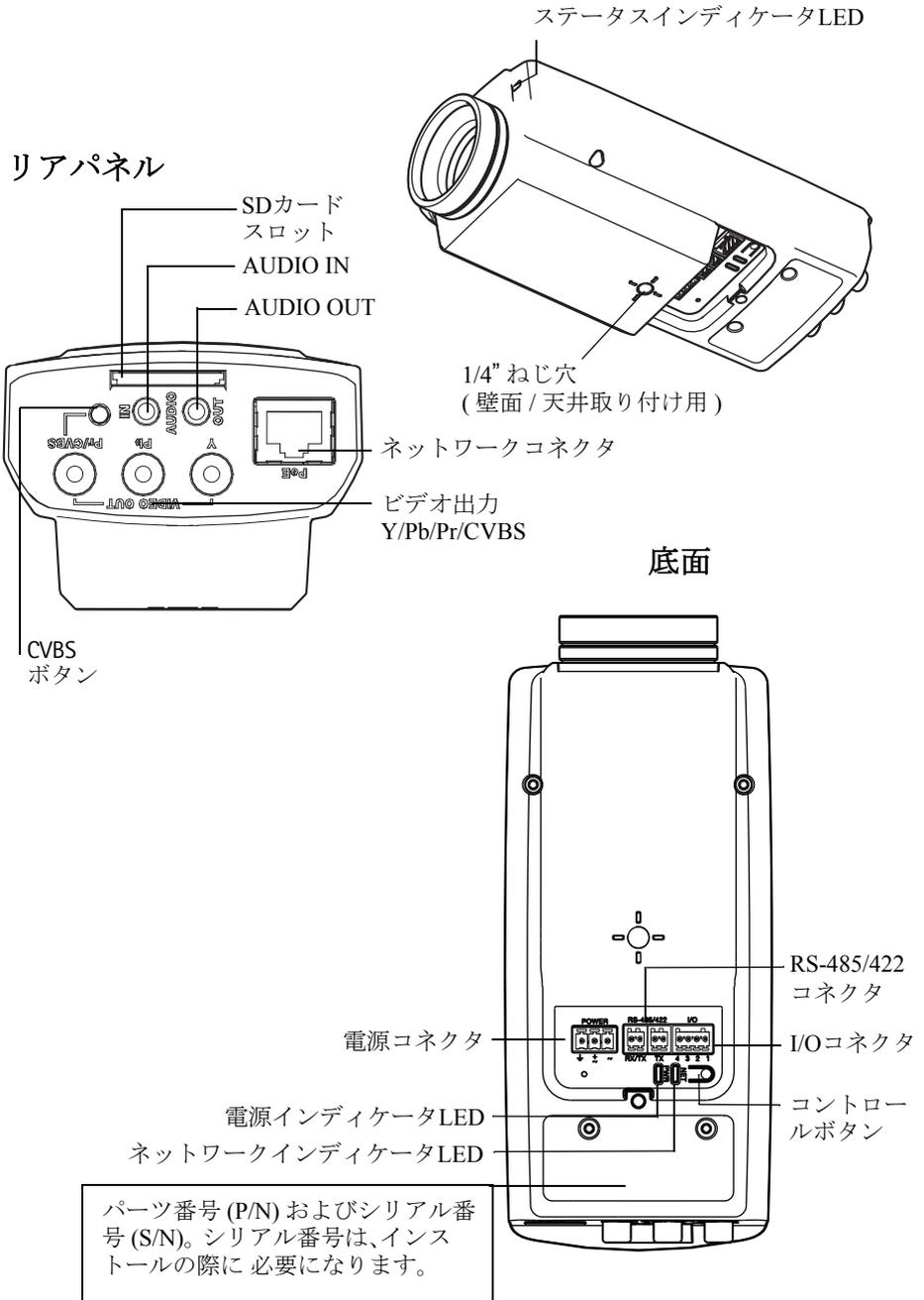
本製品はお使いになる国の法律および規制にしたがって使用してください。

① パッケージの内容

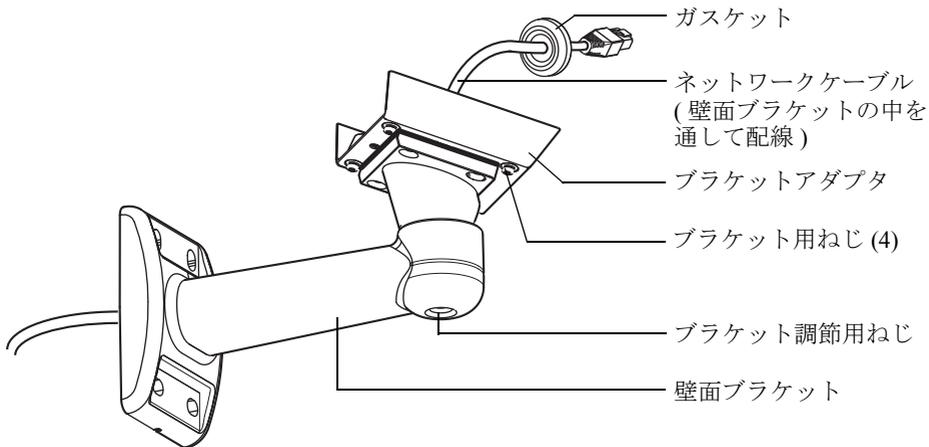
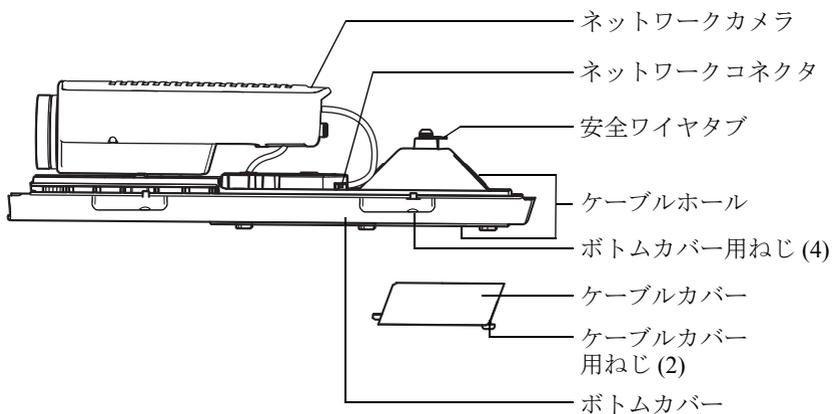
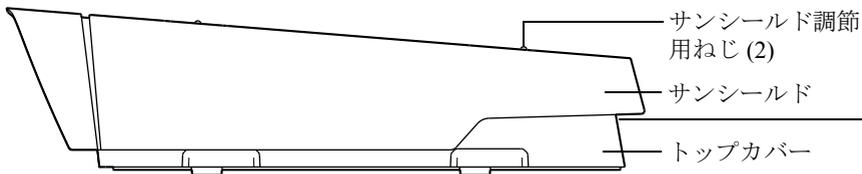
品目	モデル/型/注
ネットワークカメラ	AXIS Q1755-E
ターミナルブロックコネクタ	RS-485/422接続に使用する2ピンのコネクタ
壁面ブラケット	内部ケーブルチャンネル付き壁面ブラケット
工具	トルクスT20ドライバー 六角レンチ
CD	AXISネットワークビデオ製品CD (製品マニュアル、インストールツール、その他のソフトウェアを含む)
印刷物	AXIS Q1755-Eインストールガイド (本書) Axis保証書 予備のシリアル番号ラベル (2枚)

オプションのアクセサリ	利用できるアクセサリについては、 www.axiscom.co.jp を参照してください。
-------------	--

② ハードウェアの概要



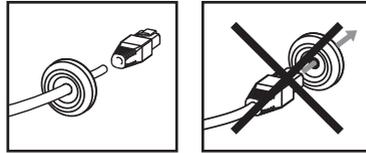
パーツ番号 (P/N) およびシリアル番号 (S/N)。シリアル番号は、インストールの際に必要なになります。



③ ハードウェアのインストール

以下の手順はAXIS Q1755-Eのインストールについて説明します。

ネットワークケーブルを準備する



付属のケーブル以外のケーブルを使用する場合には、ガスケット付きのネットワークケーブルを準備する必要があります。付属のガスケットにケーブルを少しずつ押し入れ、ネットワークコネクタに接続します。場合によっては、付属のドライバでガスケットに穴を開ける必要があります。

注意：

- ネットワークコネクタをガスケットに押し入れないでください。
- ナイフその他尖ったものでガスケットに穴を開けないでください。

壁面ブラケットのインストール

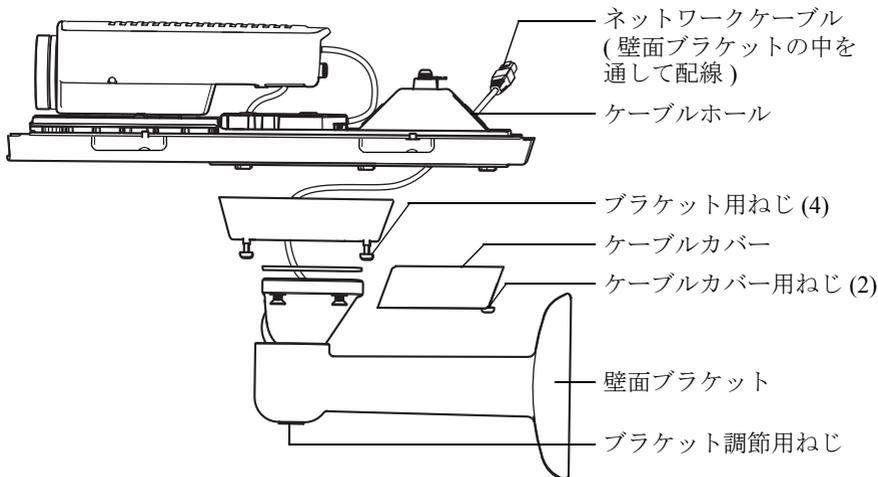
1. 壁面ブラケットを取り付けるため、付属の穴あけテンプレートを使用して壁面、天井、またはポールを準備します。
2. ネットワークケーブルを壁面ブラケットを通して配線し、ゴム製ガスケットが壁面ブラケットのブラケットアダプタの端に来るようにします。7ÉyÁ[ÉWの図を参照してください。
3. 壁面、天井、またはポールに壁面ブラケットを取り付け、ねじやプラグが取り付け先の材質に適していることを確認してください(木材、金属、石膏ボード、石など)。

注意：

- カメラの重さは3485 gです。取り付け先の材質にこの重量を十分に支えられる強度があることを確認してください。
- 技術仕様の詳細については、ユーザーズマニュアルを参照してください。ユーザーズマニュアルは、製品に付属のCDまたはAxisのホームページ (www.axiscom.co.jp) からご覧いただけます。

カメラをブラケットに取り付ける

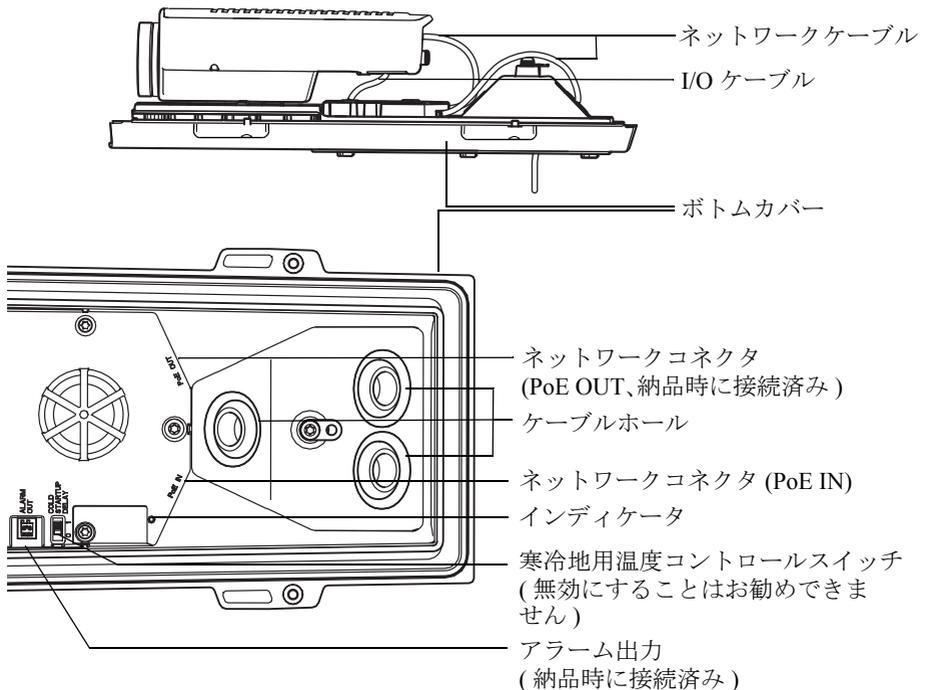
1. カメラをボトムカバーとともにブラケットに取り付け、ブラケット用ねじを締めます。
2. ボトムカバーの穴の1つからガスケットを取り外します。7EýÄ[ÉW の図を参照してください。
3. 穴を通してケーブルを配線し、ケーブルガスケットを穴に取り付けます。



4. ケーブルを接続するA10ÉyÄ[ÉWを参照して、ケーブルを接続します。
5. トップカバーを持ち、安全ワイヤをボトムカバーのタブに取り付けます。7EýÄ[ÉW の図を参照してください。
6. トップカバーを取り付けます。対角線上のボトムカバー用ねじを一度に数回ずつ締めていってください。これによりボトムカバーガスケットが全体的に押し付けられます。最初からねじを完全に締め付けないでください。
7. ケーブルカバーを取り付けて、ケーブルカバー用ねじを締め付けます。
8. サンシールド調節用ねじを緩めて、サンシールドの位置を調節します。
9. ブラケット調節用ねじを緩めて、カメラを対象の方向に向けます。ビデオストリームを表示する方法については、ビデオストリームにアクセスするA16ÉyÄ[ÉWを参照してください。

ケーブルを接続する

1. 必要に応じて、SDカード (別売) をSDHC (Secure Digital High Capacity) カードスロットに挿入します。カメラ内に画像を保存するには、標準または大容量のSDカードが必要になります。
2. 必要に応じて、外部デバイスをネットワークカメラのI/Oターミナルコネクタに接続します。ターミナルコネクタピンについては、18E4A[EWを参照してください。ネットワークケーブルを準備する A48E4A[EW を参照してガスカート付きのケーブルを準備し、ケーブル穴からボトムカバー内のカメラまでケーブルを配線します。
3. シールド付きネットワークケーブルを利用して、ネットワークカメラをネットワークに接続します。ボトムカバーのネットワークコネクタ (PoE IN) を使用します。納品時にボトムカバーとカメラの間はネットワークケーブルと I/O ケーブルですでに接続されています。



4. インディケータの状態を確認してください。詳細については、21E4A[EW の表を参照してください。

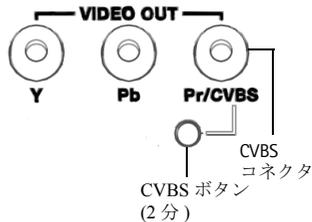
コンポジットビデオ出力 (オプション)

迅速かつ簡単なインストールを行うため、次の手順にしたがって、接続されたビデオモニターにビデオ信号を表示してください。

1. ケーブルを接続する **11.10.1** の手順にしたがいます。
2. コンポジットビデオケーブルを使用して、ビデオモニターを AXIS Q1755-E のビデオ出力 Pr/CVBS コネクタ (赤色) に接続します。
3. CVBS ボタンを 5 秒間押し続け、コンポジットビデオ出力 (インストールモード) に切り替えます。

注意： AXIS Q1755-E は、インストールモードを 2 分間にわたって維持します。この時間が経過すると、自動的にコンポーネントビデオの状態に戻ります。時間の延長が必要な場合は、もう一度ボタンを押してください。

4. カメラを配置し、画面に目的の画像が映っていることを確認します。
5. ビデオモニターを取り外します。



コンポーネントビデオ出力 (オプション)

次の手順にしたがって、接続された HDTV ビデオモニターにビデオ信号を直接表示してください。

1. ケーブルを接続する **11.10.2** の手順にしたがいます。
2. ビデオ出力 Y/Pb/Pr コネクタにコンポーネントビデオケーブルを接続して、AXIS Q1755-E を HDTV モニターに直接接続します。
ケーブルを接続したら、IP アドレスの設定 **11.12.1** に進んでください。

4 IPアドレスの設定

現在、ほとんどのネットワークでは、DHCPサーバーを使用して自動的に接続デバイスにIPアドレスを割り当てています。ネットワークにDHCPサーバーが導入されていない場合、AXIS Q1755-Eは、192.168.0.90をデフォルトのIPアドレスとして使用します。

固定IPアドレスを設定したい場合、Windows用ソフトウェアである**AXIS IP Utility**または**AXIS Camera Management**のいずれかの使用をお勧めしています。設置するカメラの台数に応じて、目的に最も合った手段をお選びください。

これらはいずれも無償のソフトウェアで、製品に付属するAXIS ネットワークビデオ製品CDに収録されています。また、Axisのホームページwww.axiscom.co.jpからダウンロードしてご利用いただけます。

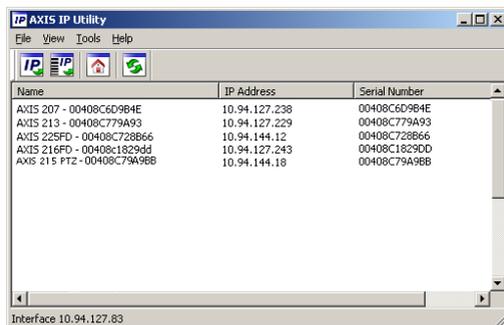
使用できる手段	推奨されるカメラ設置環境	オペレーティングシステム
 AXIS IP Utility 参照13ÉyÁ[ÉW	1台のカメラ 小規模インストール	Windows
 AXIS Camera Management 参照14ÉyÁ[ÉW	複数台のカメラ 大規模インストール 異なるサブネットでの導入	Windows 2000 Windows XP Professional Windows Server 2003 Windows Vista

注意：

- IP アドレスの設定が行えない場合は、ファイアウォールによって設定が妨げられていないかどうか確認してください。
- 他のOSを使用する場合など、AXIS Q1755-EのIPアドレスの設定および検出方法については、17ÉyÁ[ÉWを参照してください。

AXIS IP Utilityを利用する (1台のカメラ/小規模インストール向き)

AXIS IP Utilityは、ネットワーク上のAxisデバイスを自動的に検出して表示します。また、このアプリケーションでは手動で固定IPアドレスを設定することができます。



ネットワークカメラは、AXIS IP Utility が動作しているコンピューターと同じネットワークセグメント (物理サブネット) に接続されている必要があります。

自動検出機能

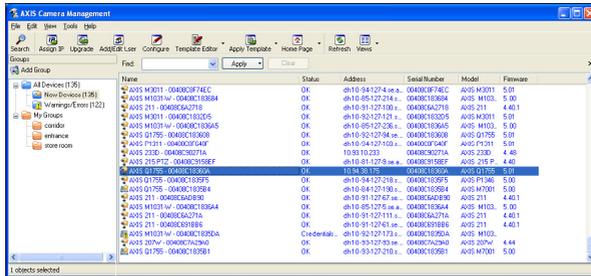
1. ネットワークカメラがネットワークに接続され、電源が入っていることを確認します。
2. AXIS IP Utilityを起動します。
3. ウィンドウにカメラが表示されたら、それをダブルクリックするとホームページが開きます。
4. パスワードの設定方法については、15ÉyÀ[ÉWを参照してください。

IPアドレスの手動設定 (オプション)

1. コンピューターと同一のネットワークセグメントで、未使用のIPアドレスを入手します。
2. リストでネットワークカメラを選択します。
3. [選択したデバイスに新しいIPアドレスを設定] ボタン  をクリックして、IPアドレスを入力します。
4. [IPを設定] ボタンをクリックし、画面の指示にしたがいます。新しいIPアドレスを設定するには、2分以内にカメラを再起動する必要があります。
5. [ホームページ] をクリックして、カメラのWebページにアクセスします。
6. パスワードの設定方法については、15ÉyÀ[ÉWを参照してください。

AXIS Camera Management (複数台のカメラ/大規模インストール向き)

AXIS Camera Managementはネットワーク上のAxisビデオ製品を自動的に検出し、IPアドレスの設定、接続ステータスの表示、ファームウェアのアップグレードなどを複数台のデバイスに対して行うことができるソフトウェアです。



自動検出機能

1. カメラがネットワークに接続され、電源が入っていることを確認します。
2. AXIS Camera Managementを起動します。ウィンドウにネットワークカメラが表示されたら、リンクを右クリックして、[Live View Home Page] を選択します。
3. パスワードの設定方法については、15EyÅ[EWを参照してください。

1台のデバイスのIPアドレスを設定する

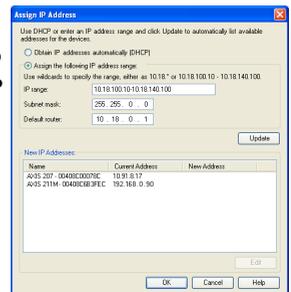
1. 一覧から設定を行うネットワークカメラを選択し、[Assign IP] ボタン  をクリックします。
2. [Assign the following IP address] を選択し、デバイスに設定する IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトルータの値を入力します。
3. [OK] ボタンをクリックします。



複数台のデバイスのIPアドレスを設定する

AXIS Camera Managementを利用すると、特定のIPアドレスの範囲を指定することにより複数台のデバイスにまとめて IP アドレスを割り当てることができ、設定作業を迅速化することができます。

1. 設定したいデバイスを選択し (異なるモデルも選択可能)、[Assign IP] ボタンをクリックします。 
2. [Assign the following IP address range] を選択し、デバイスに設定する IP アドレスの範囲、サブネットマスク、デフォルトルータの値を入力します。
3. [OK] ボタンをクリックします。



5 パスワードの設定

製品にアクセスするには、まずデフォルトの管理者 (**root**) 用のパスワードを設定する必要があります。この設定は、ネットワークカメラに初めてアクセスしたときに表示される、**[Configure Root Password]** ダイアログで行います。

rootパスワード設定時にネットワーク上で盗聴されるのを防ぐため、パスワードの設定は暗号化されたHTTPS接続を使用して行うことができますが、この場合にはHTTPS証明書が必要です。

注意：HTTPS (Hypertext Transfer Protocol over SSL) はWebブラウザとサーバー間のトラフィックを暗号化するためのプロトコルです。HTTPS 証明書は暗号化された情報の受け渡しをコントロールします。

標準HTTP接続でパスワードを設定するには、以下の最初のダイアログに直接入力してください。

HTTPS 暗号化接続を使用してパスワードを設定するには、次の手順にしたがってください。

1. **[Create self-signed certificate]** ボタンをクリックします。
2. 必要な情報を入力して **[OK]** をクリックします。証明書が作成され、これでパスワードを安全に設定できます。この時点から、ネットワークカメラとの間で送受信されるすべてのデータトラフィックが暗号化されます。
3. パスワードを入力し、スペルミスがないかを確認するために再入力します。 **[OK]** をクリックします。これでパスワードの設定が完了しました。

The image shows three screenshots from the Axis Q1755-E configuration interface:

- Top Left:** A dialog box titled "Create Certificate" with a sub-header "Create self-signed certificate...". It contains fields for "User name:" (root) and "Password:" and "Confirm password:". A callout arrow points from the "Create self-signed certificate..." button to the next screenshot.
- Top Right:** A dialog box titled "Create Self-Signed Certificate". It shows "Common name:" as "10.96.127.232" and "Validity:" as "365 days [1..9999]". It includes "OK" and "Cancel" buttons. A callout arrow points from the "OK" button to the text above it.
- Bottom Left:** A dialog box titled "Configure Root Password". It has fields for "User name:" (root), "Password:", and "Confirm password:". A callout arrow points from the "Password:" field to the text below it.
- Bottom Right:** A dialog box titled "Configure Root Password using HTTPS". It has fields for "User name:" (root), "Password:", and "Confirm password:". It includes an "OK" button.

このボタンをクリックして
HTTPS証明書を作成します。

暗号化されていない接続を経由してパスワードを設定する場合、ここでパスワードを入力します。

4. ログインするには、画面の要求にしたがってユーザー名 "root" を入力します。
注意：デフォルトの管理者ユーザー名であるrootは削除できません。
5. 上記の手順で設定したパスワードを入力し、 **[OK]** をクリックします。
注意：パスワードを忘れてしまった場合、カメラを工場出荷時設定にリセットする必要があります。22EyA[EWを参照してください。

ビデオストリームにアクセスする

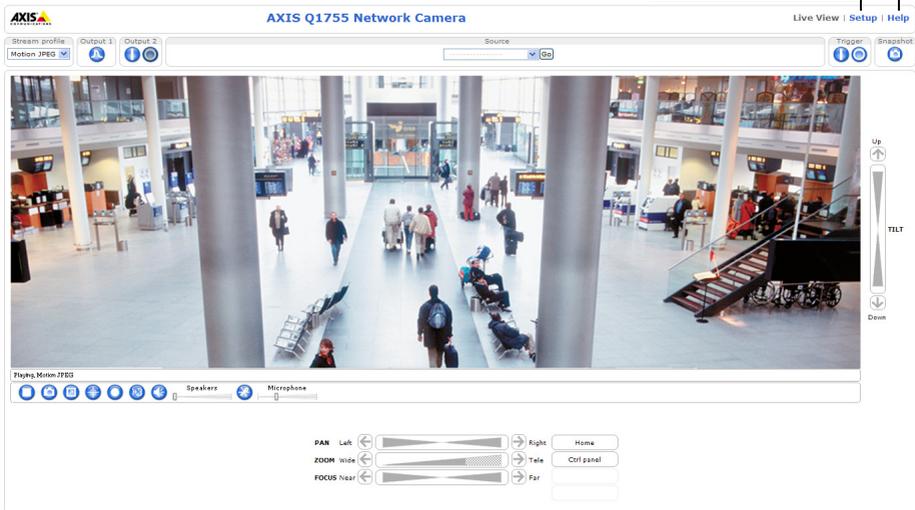
ネットワークカメラの [Live View] ページが表示されます。ここでは Setup ツールへのリンクがあり、このリンクを使用してカメラをカスタマイズできます。

必要な場合、[Yes] をクリックして AMC (AXIS Media Control) をインストールすると、Internet Explorer でビデオストリームを表示できます。インストールするには、コンピュータの管理者権限が必要です。

注意： Windows Vista および Windows 7 環境に AMC をインストールするには、管理者権限で Internet Explorer を実行する必要があります。[Internet Explorer] アイコンを右クリックし、[管理者として実行] を選択します。

Setup - お客様の要件にしたがってカメラを設定するために必要なすべてのツールを提供します。

Help - カメラの使用に関する総合的なオンラインヘルプが表示されます。



IPアドレスのその他の設定方法

次の表では、その他のIPアドレスの設定または検出方法を説明しています。すべての方法はデフォルトで有効になっていますが、無効にすることもできます。

	対応オペレーティングシステム	説明
UPnP™	Windows	コンピューターで有効に設定されている場合、カメラが自動的に検出されて、[マイネットワーク]に追加されます。
Bonjour	Mac OS X (10.4以降)	Bonjour に対応したブラウザで使用できます。ブラウザ (Safariなど) のBonjourブックマークに移動し、リンクをクリックしてカメラのWebページにアクセスします。
AXIS Dynamic DNS Service	すべて	Axisが無償で提供するサービスで、カメラをすばやく簡単にインストールできます。サービスの利用には、HTTPプロキシを使用しないインターネット接続が必要です。詳細については、 www.axiscam.net を参照してください。
ARP/Ping	すべて	以下を参照してください。コマンドの実行は、カメラに電源を接続してから2分以内に行う必要があります。
DHCP サーバー	すべて	DHCP サーバーの管理者ページを表示する方法については、サーバーのマニュアルを参照してください。

ARP/Pingを使用してIPアドレスを設定する

1. コンピューターが接続されているネットワークセグメントと同一のネットワークセグメントでIPアドレスを入手します。
2. カメラの製品ラベルに表示されているシリアル番号 (S/N) を見つけます。
3. コンピューターでコマンドプロンプトを開き、次のコマンドを入力します。

Windowsでの構文:	Windowsでの例:
arp -s <IPアドレス> <シリアル番号> ping -l 408 -t <IPアドレス>	arp -s 192.168.0.125 00-40-8c-18-10-00 ping -l 408 -t 192.168.0.125
UNIX/Linux/Macでの構文:	UNIX/Linux/Macでの例:
arp -s <IPアドレス> <シリアル番号> temp ping -s 408 <IPアドレス>	arp -s 192.168.0.125 00:40:8c:18:10:00 temp ping -s 408 192.168.0.125

4. ネットワークケーブルがカメラに接続されていることを確認します。次に、電源を取り外してから接続し直し、カメラを起動/再起動します。
5. 画面に 'Reply from 192.168.0.125: ...' またはこれに類似する応答メッセージが表示されたら、コマンドプロンプトを閉じます。
6. ブラウザーのロケーション/アドレスフィールドに「<http://<IPアドレス>>」を入力し、キーボードでEnterキーを押します。

注意:

- Windowsでコマンドプロンプトを開くには、[スタート]メニューから[ファイル名を指定して実行...]を選択し、cmdと入力してから [OK] をクリックします。
- Mac OS XでARPコマンドを使用するには、**Application > Utilities**のTerminal utilityを使用します。

各種コネクタ

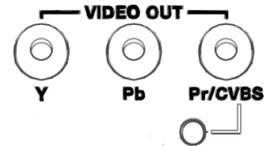
ネットワーク - 一般的な RJ-45 コネクタを利用してネットワークに接続します。PoE (Power over Ethernet、Class 3) に対応。シールド付ネットワークケーブル (STP) の使用をお勧めします。

AUDIO IN - 3.5mmモノラルマイクロフォン、またはラインインモノラル信号 (ステレオ信号の場合は左チャンネルだけを使用) 入力ソケットです。

AUDIO OUT - 音声出力 (ラインレベル) (3.5mm ジャック) には、アンプ内蔵スピーカや PA システムを接続することができます。また、ヘッドフォンを接続することもできます。この端子への接続には、ステレオコネクタを使用してください。

ビデオ出力 - コンポーネントまたはコンポジットビデオ出力用のRCAコネクタ。

- HDTVビデオ用のコンポーネントビデオ出力 (HDTV画面に接続されるエントランスカメラなど)
- コンポジットビデオ (CVBS) - ビデオモニターを使用した簡単なインストールが可能

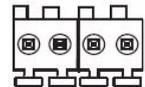


RS-485/422 - RS-485/422シリアルインターフェース用の2ピンのターミナルブロック (2つ) - PTZ デバイスなどの補助デバイスの制御に使用

RS-485/422シリアルポートは、以下のポートモードで設定できます。

- 2線式のRX/TX組み合わせペア (1つ) を用いたデータ転送に使用するRS-485半二重双方向ポート。
- 4線式のRXペアとTXペア (1つずつ) を用いたデータ転送に使用するRS-485全二重双方向ポート。
- 2線式のRXペアまたはTXペアを用いたデータ送受信に使用するRS-422単方向ポート。
- 4線式のRXペアとTXペア (1つずつ) を用いたデータ転送 (ポイントツーポイント) に使用するRS-422全二重双方向ポート。

RS-485/422



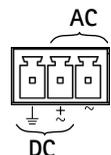
ピン 4 3 2 1

機能	ピン	説明
RS 485/422TX(A)	1	RS-422と4線式RS-485のTXペア
RS 485/422TX(B)	2	
RS-485A alt RS-485/422RX(A)	3	RXペア、すべてのモードに対応 (RX/TXの組み合わせ、2線式RS-485対応)
RS-485B alt RS-485/422RX(B)	4	

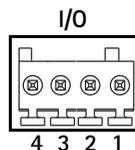
SD/SDHCメモリーカードスロット - 録画データをローカルまたはリムーバブルストレージに保存するための大容量SDメモリーカード。

電源 - 3ピンのターミナルブロック、8-20V DCまたは20-24V AC

⚠ 警告! - 接続が不適切であると、カメラが損傷することがあります。



I/Oターミナルコネクタ - 動体検知、イベントトリガー、録画、アラーム通知などのアプリケーションで使用。AXIS Q1755-E には、補助電源やGNDピンのほかに、入力または出力のどちらかに設定できるピンが2つあります。これらのピンは以下の機能に対するインターフェースを提供します。



- トランジスタ出力 - リレーやLEDなどの外部デバイスを接続します。接続されたデバイスは、[Live View] ページのAXIS VAPI API、出力ボタンまたは [Event Type] を使用してアクティブにすることができます。アラームデバイスが起動されると、出力は active と表示されます ([Event Configuration] > [Port Status]の下に表示)。
- デジタル入力 - オープンサーキットとクローズサーキットの切り替えが可能なデバイスを接続するためのアラーム入力。赤外線、ドアや窓の接触、ガラス破壊検知などがその例です。状態の変化による信号が受信されると、状態が変化して入力がactiveになります ([Event Configuration]>[Port Status] の下に表示)。

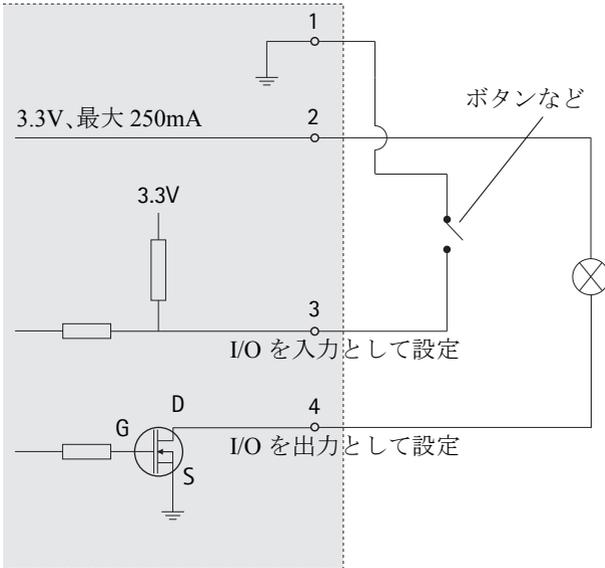
注意：

AXIS Q1755-E の I/O コネクタは納品時にハウジングエレクトロニクスに接続され、ファンまたはヒーターエラーを示す入力ポートイベントをトリガします。イベントの設定方法の詳細については、本製品に付属の CD または Axis のホームページ(www.axiscom.co.jp)から利用できるユーザーズマニュアルを参照してください。

機能	ピン	説明	仕様
GND	1	グラウンド	
3.3V DC 電源	2	補助デバイスに電源を供給することができます。 注意： このピンは電源出力のみとして使用してください。	最大負荷= 250mA
設定可能 (入力または出力)	3 - 4	デジタル入力 - 動作させるにはGNDに接続します。動作しないようにする場合はフロート状態 (未接続) にしてください。 注意： 納品時にハウジングエレクトロニクスに接続されています。	最小入力= - 40V DC 最大入力= + 40V DC
		デジタル出力 - オープンドレイン NFET トランジスタを使用。ソースをGNDに接続。外部リレーとともに使用する場合は、電圧過度現象に対する保護のためにダイオードを負荷と並列に接続する必要があります。	最大負荷= 100mA 最大電圧= + 40V DC

接続図

ネットワークカメラに補助デバイスを接続する場合は、下記の接続図を参考にしてください。



インディケータ

LED	色	説明
ネットワーク	緑色	100Mbps ネットワークに接続されている場合に点灯します。緑色で点滅してネットワークアクティビティを示します。
	オレンジ色	10Mbpsネットワークに接続されている場合に点灯します。オレンジ色で点滅してネットワークアクティビティを示します。
	消灯	ネットワークに接続されていません。
ステータス	緑色	正常動作時に、緑色で点灯します。 注意：ステータスインディケータは、ユーザがネットワークカメラにアクセスしている時に一定の間隔で点滅させたりすることができます ([Setup] > [System Options] > [LED])。詳細については、オンラインヘルプを参照してください。
	オレンジ色	ネットワークカメラの起動中、工場出荷時の状態へのリセット中、および設定を復元している時にオレンジ色で点灯します。
	赤色	低速で赤色で点滅している場合は、ファームウェアのアップグレードが正しく行われていません。
電源	緑色	正常に動作しています。
	オレンジ色	ファームウェアのアップグレードを行っている間、緑とオレンジ色で交互に点滅します。

ハウジングエレクトロニクスステータスインディケータ (ファン/ヒーター)

LED	色	説明
電源	緑色	OK
	緑色に点滅	1回点滅：ヒーターエラー 2回点滅：ファンエラー 3回点滅：一般的なエラー 注意：アラームイベントはカメラの入力ポートを通してトリガされません。本製品に付属のCDまたはAxisのホームページ(www.axis.com.co.jp)から利用できるユーザーズマニュアルを参照してください。故障修理については、Axis販売店までお問い合わせください。

工場出荷時設定にリセットする

以下の方法を利用してリセットを行うと、IPアドレスを含むすべてのパラメータが工場出荷時の状態にリセットされます。

1. ネットワークカメラの電源を切ってください。
2. コントロールボタンを押しながらネットワークケーブルを接続してネットワークカメラの電源を入れます。
3. ステータスインディケータがオレンジ色で点灯するまでコントロールボタンを押し続けます (約15秒程かかります)。
4. コントロールボタンを放します。ステータスインディケータが緑色で点灯します (1分程かかる場合があります)。カメラは、工場出荷時のデフォルト設定にリセットされました。
5. IPアドレスを設定し直すには、本書で説明する方法で行ってください。

パラメータを工場出荷時設定にリセットするには、Webインターフェースを使用することもできます。詳細については、オンラインヘルプまたはユーザーズマニュアルを参照してください。

インターネットを経由してネットワークカメラにアクセスする

インストールが完了すると、お使いのローカルネットワーク (LAN) でネットワークカメラにアクセスできるようになります。インターネットを経由してカメラにアクセスする場合は、受信トラフィックを受け入れるようネットワークルータを設定する必要があります (通常、特定のポートで行います)。

- 閲覧と設定を行う場合は、HTTPポート (デフォルトポート : 80)
- H.264ビデオストリームを閲覧する場合は、RTSPポート (デフォルトポート : 554)

詳しくは、お使いのルータのマニュアルを参照してください。この他のトピックについて詳しくは、Axisのサポートサイト (www.axis.com/techsup) を参照してください。

関連情報

ユーザーズマニュアルは、製品に付属のCDまたはAxisのホームページ (www.axiscom.co.jp) からご覧いただけます。

ヒント!

www.axis.com/techsupにアクセスして、AXIS Q1755-Eのファームウェアのアップデート版がリリースされていないかどうか確認してください。

現在インストールされているファームウェアのバージョンを確認するには、**[Setup]** > **[About]** をクリックします。

インストールガイド

AXIS Q1755-E

© アクシスコミュニケーションズ株式会社、2010-2013 年

Ver.1.2

印刷日 : 2013 年 11 月

パーツ番号 : 54744